

第5回（地域公聴会／浜田・江津会場）及び第6回の議論のまとめ

- ①普通科，専門学科とも，石見部全体での位置づけの中で議論すべき。
- ②時代的な要請，生徒の進路志向，地域のニーズなどを踏まえた議論が必要。
- ③これまでの枠組み（工業，商業，農業など）を超えて構想することも必要。
- ④中高一貫など高校教育の新たな枠組みについても研究が必要。
- ⑤選択肢を増やすという観点から，新たな学科のカリキュラム研究も必要。

江津市エリア・浜田市エリアの「結論」を
全体の議論に先行させて得ることが可能か？

→両エリアを具体的な事例として先行的に検討することを通じて
むしろ「全体で議論すべきこと」のイメージが明確になったのでは？

*既に整理した3つの論点を中心に

*新たな学習指導要領の時代がやってくることも踏まえて

今後の島根県の高校教育の方向性

についての大枠の議論をこの段階でしておく必要があるのでは？

資料1-2 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）H28.8.26」

全ての生徒に共通に身に付ける資質・能力「コア」についての基本的考え方 (「初等中等教育分科会高等学校教育部会の審議まとめについて」(平成26年6月中央教育審議会高等学校教育部会)より)

コアの要素を含む資質・能力 (イメージ)

高等学校教育を通じて身に付けるべきもの

確かな学力

- ア 基礎的・基本的な知識・技能
- イ 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力 (思考力・判断力・表現力等)
- ウ 主体的に学習に取り組む意欲・態度

説明する力、議論する力

批判的、合理的に考える力

「創造力、構想力」

社会・職業への円滑な移行に必要な力
 ・
 市民性

「自己理解・自己管理能力」

「主体的行動力」

「職業観・勤労観」

「人間関係形成力」

- 社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」
- 社会的責任を担い得る倫理的能力
 社会の一員として参画し貢献する意識・態度

- 社会奉仕の精神、他者への思いやり

豊かな心

健やかな体

- 健康の保持増進のための実践力

A 筆記試験や実技試験等による客観的な評価の対象としやすいもの

B A以外のもの